

地域とともにある学校づくりについて

～県立高校における地域と連携した魅力ある学校づくり～

大分県 資料1

【取組の概要】

○県立高等学校と地域が連携・協働し、生徒の学力向上や学校の特色化を図る取組を行うことで、生徒の進路実現を図るとともに、地域に信頼され中学校に選ばれる学校づくりを推進

《これまでの経緯》

- H28年～H30年度 地域の高校活性化支援事業
- H31年～R2年度 地域の高校魅力化・特色化推進事業

成果

- 地域への理解や愛着が深まった生徒数が増加
- 高校に対する理解が深まった地域中3生保護者の増加
- 魅力化の取組により志願者増につながった学校あり

課題

- 地域へのさらなるPR活動・情報発信
- 外部人材のさらなる活用による徹底した特色化推進
- 入学希望者のさらなる増加

令和3年度の取組

『地域との協働による高校魅力化推進事業』

採択校18校（大分市・別府市以外の地域の高校）

A『地域の課題探究』プロジェクト

- 地域貢献に積極的に関わろうとする意思を持つ人材の育成
- 地域課題解決に係る探究学習を生徒のキャリア形成に反映

B『地域の活力創出』プロジェクト

- 地域行事への積極的参加による伝統文化保護活動
- 地域の活性化につながる特色ある部活動の推進

C『地域の学び連携』プロジェクト

- 地域の小中学校と連携した地域全体の学力向上への貢献
- 学びを通じた中学生との交流の成果としての発表力向上

R3年度の重点的取組

（持続可能な地域との協働体制構築）

地域人材の活用

- ・学校と地域とをつなぐ人材を発掘
 - 商工観光労働部など関係機関と連携
 - キャリア教育における小中高の連携
 - 地域を担う人材づくり

コンソーシアムの構築

- ・コンソーシアム（共同事業体）構築に取り組み、育成する力・育てたい生徒像の共有化
 - 持続可能な取組とするための組織づくり



日田産のフルーツで至福のスイーツ企画に係るコンソーシアム<日田三隈高校>



各学校のスクール・ミッション及び三つの方針(スクール・ポリシー)の策定について

大分県教育庁
高校教育課

【本県の基本的な考え方】

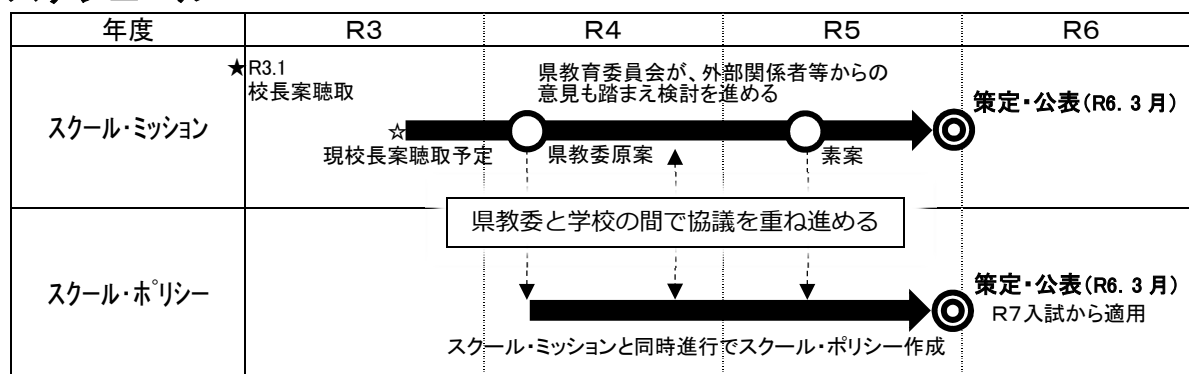
1. 策定の考え方

- スクール・ミッションは、学校の役割や理念を提示するものであり、生徒や学校、地域の状況を踏まえたものにするため、県教育委員会と当該高等学校、市町村教育委員会等との間で一定の協議期間を設けた上で、今後の学校の在り方に係る中長期的なビジョンと併せ、**県教育委員会が策定する。**
- スクール・ポリシーは、育成すべき資質・能力を明確にし、高等学校教育の入口から出口までの教育活動について体系的な方針として学校内外に示すものであり、スクール・ミッションを踏まえ、**各高等学校が策定する。**

2. 策定期期

- 令和7年3月31日までの間は、高等学校の設置者が、特別の事情があり、かつ教育上支障がないと認める場合には、高等学校は、三つの方針を定め、公表することを要しない。(省令改正に係る経過措置)
- スクール・ミッションとスクール・ポリシーは一体的なものであり、同時進行的に協議を重ねた上で、**策定・公表についても同時期とする。**
- 具体的時期については、中学生や保護者等への周知期間も鑑み、**令和5年度末に策定・公表、令和6年度は周知期間とし、令和7年度からの適用**を予定している。

3. スケジュール



※なお、R6年度までの、学校の方針等については、各学校の教育目標、グランドデザイン及び高等学校入学者選抜における「学校ごとに定める事項」等において、中学生や保護者、地域等に対して、その時点での方針を示すものとする。